

第2回 阪南市住民センターあり方検討審議会 会議録

名称	第2回 阪南市住民センターあり方検討審議会
開催日時	令和1年10月4日（金） 午後6時00分～午後8時05分
開催場所	阪南市役所 別棟1階 第2会議室
出席者	【審議会委員】 三星委員、藤井委員、北浦委員、西浦委員、土井委員、肥田委員、小坂委員 吉田委員、山本委員、岡 委員、南山委員（11人出席） 【市】 森貞総務部長 地域まちづくり支援課 辻野課長代理、寺本主幹、岩下総括主事
傍聴人数	4人
次第	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 資料説明 4. ワークショップ 5. その他
資料	○ 資料1 自治体アンケート結果 ○ 資料2 年齢別人口集計表 ○ 資料3 人口ピラミッド ○ 資料4 住民センター利用種別状況について ○ 参考資料1 阪南市住民センターあり方検討審議会委員名簿 ○ 参考資料2 住民センターあり方審議の方向性について ○ 当日資料 第2回住民センターあり方検討審議会 ワークショップ
会議	<p>あいさつ</p> <p>会長 皆様、こんばんは。 夕方のお時間にお集まりいただきありがとうございます。 本日は、前半に資料の説明をしていただき、その後、本日のメインですが、面白い工夫として、通常のディスカッションではなく、ワークショップとして、2班に分けて、皆様のアイデアや考え方等、項目ごとに様々な意見を出し合って、それらをまとめていこうと思います。このワークショップというのは、参加者全員の意見をしっかりと入れていくには、大変有効な方法です。もう一つの特徴としては、本人も意識していない問題のポイントが出てくるのがかなりあります。 それでは次第3「資料説明」として、資料の1から4を一括して、事務局より説明願います。</p> <p>次第3【資料説明】 資料1から4に基づいて、事務局より説明</p> <p>（委員からの意見、質疑・応答）</p> <p>会長 ありがとうございます。 以上の説明に対しまして、どなたでも結構ですから、ご質問、ご意見を頂戴したいと思います。 それでは私の方から、市の総合計画で、最新の人口データをいつ出していますか。</p> <p>事務局 人口ビジョンは、平成27年に出しております。ただ、少し希望的観測を入れた人口ビジョンとなっております。作成から4年経ちますが、現状は予測に比べ低くなっており、昔は、中学校は鳥取中学校1校だけだったのですけれど、将来人口を見ると、中学校は1校でいけるような、昔に戻ってしまう衝撃的な数値となっております。</p> <p>会長 予測より下にっているわけですか。 皆さん、いかがでしょうか。</p> <p>特になければ、後からでも質問していただいて結構です。 それでは次に進めたいと思います。次第の4「ワークショップ」ということで、前回、事務局より説明のあった参考資料2の「住民センターのあり方審議の方向性について」の検討項目の内、本日は、役割についてとして、地域の拠点に求められる機能や住民センターを利用、活用するに当たっての困りごとや問題点等について、ワークショップ形式でグループごとにご議論いただきたいと思います。 これにつきまして、事務局と事前に相談したのは、こういった会議全体がそうなんです、どうしても現役の若い方々が、仕事を持っていることから参加しにくいとかがありまして、年齢を若い人と、年配の人とに分けて議論していければなど。それでは、ワークショップについて事務局より説明願います。</p>

次第4【ワークショップ】

当日配布資料
第2回住民センターあり方検討審議会ワークショップに基づいて、事務局より説明

○テーマ：住民センター運営について

- ① 住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは
- ② 自分たちで改善できそうなことは
- ③ 地域の拠点に求められる機能とは

○設 定

- ① 自身が現在70歳の住民センターの利用者と仮定しての議論
- ② 自身が現在30歳の住民センターの利用者と仮定しての議論

会長
それでは、グループの運営は、私と、副会長で行います。
内容につきましては、三つありまして、一つ目は、困っていることと問題点、二つ目は、困っていることや問題点に対する改善点、三つ目が、求められる機能、これは出しにくいのですが、こんなことがやりたい、あんなことがやりたいこと等なんでも結構です。
それではまず、書いてもらいましょう、用紙の色分け等についてどうなりますか。

事務局
お手元に、3種類の色のメモ用紙を置いておりまして、青色の紙に困っていることや問題点を自由に書いていただければと思います。これを8分程度で行っていただき模造紙に貼ってください。次に、同じような形で改善できそうなことを緑の紙に書いていただいて、最後、ピンク色の紙に求められる機能を書いてください。これらについて、70歳のバージョンと30歳のバージョンを行っていただきたいと思います。タイムキーパーにつきましては事務局の方でさせていただきます。

－ ワークショップ（70歳バージョン） －

事務局
それでは、B班の方から発表をお願いします。

B班	①住民センターを利用、活用するに当って困っていることや問題点とは	
	立地の問題	場所が遠い（徒歩10分以内が望ましい）。
	ハードの問題	階段があり避難場所に使えない。未耐震なので怖い。エレベーターが無いので2階の活用がしにくい。駐車場がない。調理設備が無いので災害時の炊き出しが出来ない。
	利用方法の問題	鍵の管理。いつも開いていない。役が当たるのが嫌。活動の担い手不足。団体が無くなった。
	管理運営の問題	管理が面倒。人手不足。
	②自分たちで改善できそうなことは	
	立地の問題	近所の家で十分。多様な場所の活用＋住民センター機能。
	ハードの問題	福祉施設と連携。バリアフリー。調理設備。
	利用方法の問題	予約方法（気軽に借りれる方法）。
	管理運営の問題	団体の横串。
	③地域の拠点に求められる機能とは	
	利用方法の問題	男の一人暮らしが集う場所。敬老会。多世代交流（親睦）。カラオケ。夜警の出発。

B班	<p>①の住民センターの活用というところの問題で、気軽に使えるという意味で、いつも鍵が開いていると使いやすいのではないのか、子供会とか婦人会とかの使用する団体が無くなっていく、住民センターを管理する担い手がない等の意見が出ていました。これらの解決策として、人手が無いという事なので、管理者を無くせばと思います。</p> <p>次が、②の自分たちで改善できそうなところとしては、問題点の中で、耐震が出来ていないというようなハード面の問題が多くあるが、こういうところの改善策は、役所との話し合いになると思う。利用面の改善策では、調理場の改修やバリアフリーを行って、利用者を増やす。次の、③求められる機能としては、高齢の一人暮らしが多いことから、その方たちが集えるような料理教室や、地域交流が図れるような機能が求められる。立地としては、10分以内の範囲が望ましい等の意見がありました。ハード面の問題が多く、役所をお願いするようなことが多くありました。発表は以上です。</p>																																
事務局	ありがとうございます。それでは、A班の方から発表をお願いします。																																
A班	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 593 1455 627">①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 627 630 705">立地の問題</td> <td data-bbox="630 627 1455 705">住民センターが遠い。住民センターまで歩いていけない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 705 630 817">ハードの問題</td> <td data-bbox="630 705 1455 817">いくつかの階段があり入りづらい。トイレの水洗化。トイレが男女兼用で使いにくい。車いすでは階段がづらい。駐車場がない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 817 630 963">利用方法の問題</td> <td data-bbox="630 817 1455 963">事前の申し込みが必要。鍵を取りに行く必要がある。誰でも利用できるかわからない。鍵を借りるのが手間で見当。住民センターの利用時間がわからない。メンテナンスの当番がわずらわしい。利用手続きが面倒。サークル活動に参加したいがどんな活動があるのか分からない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 963 630 1041">参加者の問題</td> <td data-bbox="630 963 1455 1041">若い人にも参加してほしいが来てくれない。百歳体操の参加者が多くて狭く感じる。他の団体と利用が重なった場合、音が気になる。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1041 630 1108">備品関係</td> <td data-bbox="630 1041 1455 1108">いすやテーブルを運ぶのが大変。いす等が使いにくい。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 1108 1455 1153">②自分たちで改善できそうなことは</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1153 630 1220">立地の問題</td> <td data-bbox="630 1153 1455 1220">コミュニティバスや福祉委員の車に乗る。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1220 630 1332">ハードの問題</td> <td data-bbox="630 1220 1455 1332">バリアフリー化をする。近くの空地进行を借り上げる。設備改善委員会及び定期的改善。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1332 630 1489">利用方法の問題</td> <td data-bbox="630 1332 1455 1489">回覧、広報にて告知する。掲示板、回覧板、利用、自立させる等周知の向上。活動についての広報（掲示等）。参加しやすいプログラム作り、無料でできる。誰もが集える時間の開放。高齢者ばかりになったらなるべくわかりやすい運営にする。申し込み方法の簡易化。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1489 630 1556">参加者の問題</td> <td data-bbox="630 1489 1455 1556">住民センターを使うために健康でいたい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1556 630 1635">備品関係</td> <td data-bbox="630 1556 1455 1635">若い方に手伝ってもらおう。いす等備品の軽量化、使いやすくする。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 1635 1455 1668">③地域の拠点に求められる機能とは</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1668 630 1780">趣味など</td> <td data-bbox="630 1668 1455 1780">売ります、買います、あげます、定期化。家庭にある本、DVDを出す。カラオケ。最近の流行に触れてみたい。趣味を極めるサークル。趣味のサークル活動。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1780 630 2004">利用方法など</td> <td data-bbox="630 1780 1455 2004">健康でいたい。毎日いつでも使えるようにしたい。好きな時に使えるようにする。各団体への場所提供。コミュニケーションの場。参加しやすいプログラム作り。毎日のように出かけるようにしたい。高齢者の集いの場。（同居）老人のコミュニケーション。若い人に教えたい。年寄りの知恵伝承。世代間の情報交換の場。現役の時のスキルを活かしたい、教えたい。世代を問わずおしゃべりの場、無料カフェ。子供たちと一緒に話したい。友達や知り合いを作りたい。おしゃべりしたい。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 2004 630 2078">利用料</td> <td data-bbox="630 2004 1455 2078">年を取ると無料に。無料化。</td> </tr> </table>	①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは		立地の問題	住民センターが遠い。住民センターまで歩いていけない。	ハードの問題	いくつかの階段があり入りづらい。トイレの水洗化。トイレが男女兼用で使いにくい。車いすでは階段がづらい。駐車場がない。	利用方法の問題	事前の申し込みが必要。鍵を取りに行く必要がある。誰でも利用できるかわからない。鍵を借りるのが手間で見当。住民センターの利用時間がわからない。メンテナンスの当番がわずらわしい。利用手続きが面倒。サークル活動に参加したいがどんな活動があるのか分からない。	参加者の問題	若い人にも参加してほしいが来てくれない。百歳体操の参加者が多くて狭く感じる。他の団体と利用が重なった場合、音が気になる。	備品関係	いすやテーブルを運ぶのが大変。いす等が使いにくい。	②自分たちで改善できそうなことは		立地の問題	コミュニティバスや福祉委員の車に乗る。	ハードの問題	バリアフリー化をする。近くの空地进行を借り上げる。設備改善委員会及び定期的改善。	利用方法の問題	回覧、広報にて告知する。掲示板、回覧板、利用、自立させる等周知の向上。活動についての広報（掲示等）。参加しやすいプログラム作り、無料でできる。誰もが集える時間の開放。高齢者ばかりになったらなるべくわかりやすい運営にする。申し込み方法の簡易化。	参加者の問題	住民センターを使うために健康でいたい。	備品関係	若い方に手伝ってもらおう。いす等備品の軽量化、使いやすくする。	③地域の拠点に求められる機能とは		趣味など	売ります、買います、あげます、定期化。家庭にある本、DVDを出す。カラオケ。最近の流行に触れてみたい。趣味を極めるサークル。趣味のサークル活動。	利用方法など	健康でいたい。毎日いつでも使えるようにしたい。好きな時に使えるようにする。各団体への場所提供。コミュニケーションの場。参加しやすいプログラム作り。毎日のように出かけるようにしたい。高齢者の集いの場。（同居）老人のコミュニケーション。若い人に教えたい。年寄りの知恵伝承。世代間の情報交換の場。現役の時のスキルを活かしたい、教えたい。世代を問わずおしゃべりの場、無料カフェ。子供たちと一緒に話したい。友達や知り合いを作りたい。おしゃべりしたい。	利用料	年を取ると無料に。無料化。
①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは																																	
立地の問題	住民センターが遠い。住民センターまで歩いていけない。																																
ハードの問題	いくつかの階段があり入りづらい。トイレの水洗化。トイレが男女兼用で使いにくい。車いすでは階段がづらい。駐車場がない。																																
利用方法の問題	事前の申し込みが必要。鍵を取りに行く必要がある。誰でも利用できるかわからない。鍵を借りるのが手間で見当。住民センターの利用時間がわからない。メンテナンスの当番がわずらわしい。利用手続きが面倒。サークル活動に参加したいがどんな活動があるのか分からない。																																
参加者の問題	若い人にも参加してほしいが来てくれない。百歳体操の参加者が多くて狭く感じる。他の団体と利用が重なった場合、音が気になる。																																
備品関係	いすやテーブルを運ぶのが大変。いす等が使いにくい。																																
②自分たちで改善できそうなことは																																	
立地の問題	コミュニティバスや福祉委員の車に乗る。																																
ハードの問題	バリアフリー化をする。近くの空地进行を借り上げる。設備改善委員会及び定期的改善。																																
利用方法の問題	回覧、広報にて告知する。掲示板、回覧板、利用、自立させる等周知の向上。活動についての広報（掲示等）。参加しやすいプログラム作り、無料でできる。誰もが集える時間の開放。高齢者ばかりになったらなるべくわかりやすい運営にする。申し込み方法の簡易化。																																
参加者の問題	住民センターを使うために健康でいたい。																																
備品関係	若い方に手伝ってもらおう。いす等備品の軽量化、使いやすくする。																																
③地域の拠点に求められる機能とは																																	
趣味など	売ります、買います、あげます、定期化。家庭にある本、DVDを出す。カラオケ。最近の流行に触れてみたい。趣味を極めるサークル。趣味のサークル活動。																																
利用方法など	健康でいたい。毎日いつでも使えるようにしたい。好きな時に使えるようにする。各団体への場所提供。コミュニケーションの場。参加しやすいプログラム作り。毎日のように出かけるようにしたい。高齢者の集いの場。（同居）老人のコミュニケーション。若い人に教えたい。年寄りの知恵伝承。世代間の情報交換の場。現役の時のスキルを活かしたい、教えたい。世代を問わずおしゃべりの場、無料カフェ。子供たちと一緒に話したい。友達や知り合いを作りたい。おしゃべりしたい。																																
利用料	年を取ると無料に。無料化。																																

A班	<p>まず課題をというところで、大きくは5つ、立地の問題、参加者の問題、利用方法の問題、備品関係、ハード系の問題。先程、B班の方でもあったと思うんですが、住民センターが遠い、参加者の問題で、他の団体と利用が重なった時、音が気になるとか、若い人にも参加してほしいけども、参加してくれないというのがありました。利用問題の部分に関しては、結構手間の部分で、住民センターの利用時間がわからない、利用するにも手間があるという部分が出ていました。備品関係で、いすやテーブルを運ぶのが大変、使いにくいという問題。ハード系の問題というところで、階段があるなどの段差の問題が結構出ていました。それに対して何ができるのかというところで、立地の問題で出たのが、コミュニティバスだと福祉車両を利用する。あと、参加者の問題については、健康でいられるようにしたい、利用方法の部分に関しては、知られていないというところがあるので、告知の方法の改善。備品に関しては、若い人に手伝ってもらってであったり、軽量化して使いやすくするというのが出ていました。ハード系部分では、バリアフリーであったり、近くの空気を借り上げるというのが出ていました。次が、拠点をどういうふうに活かすのかというところで、大きく4つ出てきたのですが、やりたい事っていうのがなかなか表現するのは難しいのですが、大きくは、趣味などのサークル活動や自分の持っている本やDVDなどを売ります、買いますというのや趣味を極めるサークルをしたいというのが出ていました。あと、住民センターをコミュニケーション等の場所として使いたいが、離れた会長のところへ鍵を借りに行かなければならないというのが大変なので、平日の昼間であれば、いつでも開いている等の利用をしやすい方がいいのではというような話が出ていました。他に出ていたのが、利用料に関して、高齢になると少しのお金であっても負担になるので、無料化にしてもらうのがいいのではないかという意見もありました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。 続きまして、設定の②にありますように、皆様が30歳になられたと仮定しての住民センターの利用者として、テーマ①②③について、ワークショップを行いたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;">— ワークショップ（30歳バージョン） —</p>
事務局	<p>それでは、A班、B班共にまとまったようですので、それぞれ発表を行っていただきたいと思 います。 まずA班の方から発表をお願いします。</p>

A班	①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは	
	情報の問題	住民センターが何処にあるかわからない。利用の仕方がわからない。何をやっているかわからない。子育て情報がない。高齢者が使用するイメージがある。世代の異なる人との関わり方がわからない。年寄りの知恵が欲しい。
	機会・時間の問題	行く機会がない。使う気持ちの余裕がない。忙しくて行きたいが行けない。わざわざ行きたいと思わない。関わる機会がない。仕事で忙しく利用する時間がない。仕事で時間がない。
	利用方法	趣味、サークル活動を安くあげたい。使いたいけど利用理由で断られる。
	子育て支援	泣き叫ぶ我が子をベビーカーで押して行くのが大変。乳児の預かり保育。
	設備	おむつ替えや授乳の場所がない。IT設備がない。
	②自分たちで改善できそうなことは	
	情報の問題	問い合わせ先の掲示。活動内容の広報。活動内容の掲示。IT、SNSの活用。HPや広報等で住民センターの使い方をチェックする。コワーキングスペース、仕事を住民センターでやる。
	機会・時間の問題	地域助け合いボランティア組織を作りそのセンターにする。
	子育て支援	ご年配の方の助けによる預かり保育。
	設備	装飾に凝る(若者化)。Wifiの使用可。インターネット時代の設備化。
	③地域の拠点に求められる機能とは	
	使用の内容	習い事で使いたい。親(若い)と子供の共同お料理教室。塾以外の教育プロジェクト。教養講座(先生は住民)。漬物、料理教室。子供服、用品の譲り合い。コミュニケーション。自由に開設できる避難所。使わなくなったレトロな物を見つけない。若い人同士のつながり作り。気楽に話せる仲間が欲しい。おじいちゃん、おばあちゃんの知恵を知りたい。
	情報発信	旅行、温泉情報センター。
	子育て関係	子育ての拠点(預かりなど)。育休の間のセンター機能。子供を預けたい。
	設備	大画面のモニター、プロジェクターが欲しい。防音設備が欲しい(ダンス・バンド)。ITの充実。

A班	<p>30代と違って問題等を出したのですけれども、住民センターがどこにあるかわからない、利用の仕方がわからない、高齢者が使うイメージがある、そんな問題が出ています。やはり現役世代なので、時間がない、機会がない、行きたいと思わない、わざわざ行くことでもない、というような厳しい意見が出ています。利用方法については、趣味・サークル活動を安くしたい、使いたいけど利用理由で断られる、という意見が出ました。子育て支援については、乳幼児の預かり保育があればいいな、預かり保育に泣き叫ぶ子供を連れて行くまでが大変だ、という意見がありました。設備については、乳幼児のおむつ替えや授乳の場所がない、WiFi等のIT設備がなく使いにくい等の意見がありました。それに対する改善点で自分たちで出来ることはなにか、については、活動内容の広報、ホームページや掲示板等で、住民センターの使い方や場所をチェックするところから始める。行く機会がない、行く時間がないの問題については、地域助け合いボランティア組織等を作って、住民センターごと、こういう組織にする。コワーキングスペース、仕事を住民センターでやってしまう。子育て支援については、年配の方の助けが必要だという意見が出ました。設備については、WiFiやインターネットなどの充実、装飾をもっと若者向けにするという意見が出ました。また、使用の内容がたくさん出ていました。コミュニケーションや習い事で使いたい、漬物や料理教室、親と子供の共同のお料理教室、自由に開設できる避難所、教養講座や塾以外の教育プロジェクト等が出ました。コミュニケーションは先程の70代でも出ましたが、おじいちゃんやおばあちゃんの知恵を知りたい、若い人同士のつながりを作りたい、子供服や用品の譲り合いや年配の方の使わなくなったレトロなものを購入したい、という意見が出ました。情報発信については、旅行や温泉についての情報発信があればいいな、また、子育て関係については、子どもを預けたい、これからは男性の育児休暇が増えてくるのではないかとということで、育児休暇の間のセンター機能が出来たらいいのではないかと、また、設備については、WiFiの充実、ダンスやバンドで使いたいので防音設備が欲しい、大画面のモニターやプロジェクターが欲しいという意見がたくさんありました。以上です。</p>														
事務局	<p>ありがとうございます。それでは、B班の方から発表をお願いします。</p>														
B班	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 929 1453 963">①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 963 630 1030">管理運営の問題</td> <td data-bbox="630 963 1453 1030">使い勝手が悪い（予約システムがない）。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1030 630 1187">利用方法の問題</td> <td data-bbox="630 1030 1453 1187">公民館と住民センターの違いが分からない。何に使えるかわからない。子供の集まる場所。住民センターの情報発信がない。たくさんの人が集まる機会がない。人口減⇒集会所の必要ない。準備が面倒。必要ない。スマホ、地域外のつながり多い。外国人には使い方が分からない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1187 630 1254">ソフト面の問題</td> <td data-bbox="630 1187 1453 1254">転入者少ない⇒交流の必要性の減少。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="438 1254 1453 1288">③地域の拠点に求められる機能とは</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1288 630 1411">利用方法の問題</td> <td data-bbox="630 1288 1453 1411">親子イベント。子育てサロン。祭り。子供を通じて親同士の交流。外国人との交流拠点（将来）。日本語教室。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="438 1411 630 1478">立地の問題</td> <td data-bbox="630 1411 1453 1478">災害拠点。</td> </tr> </table>	①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは		管理運営の問題	使い勝手が悪い（予約システムがない）。	利用方法の問題	公民館と住民センターの違いが分からない。何に使えるかわからない。子供の集まる場所。住民センターの情報発信がない。たくさんの人が集まる機会がない。人口減⇒集会所の必要ない。準備が面倒。必要ない。スマホ、地域外のつながり多い。外国人には使い方が分からない。	ソフト面の問題	転入者少ない⇒交流の必要性の減少。	③地域の拠点に求められる機能とは		利用方法の問題	親子イベント。子育てサロン。祭り。子供を通じて親同士の交流。外国人との交流拠点（将来）。日本語教室。	立地の問題	災害拠点。
①住民センターを利用、活用するに当たって困っていることや問題点とは															
管理運営の問題	使い勝手が悪い（予約システムがない）。														
利用方法の問題	公民館と住民センターの違いが分からない。何に使えるかわからない。子供の集まる場所。住民センターの情報発信がない。たくさんの人が集まる機会がない。人口減⇒集会所の必要ない。準備が面倒。必要ない。スマホ、地域外のつながり多い。外国人には使い方が分からない。														
ソフト面の問題	転入者少ない⇒交流の必要性の減少。														
③地域の拠点に求められる機能とは															
利用方法の問題	親子イベント。子育てサロン。祭り。子供を通じて親同士の交流。外国人との交流拠点（将来）。日本語教室。														
立地の問題	災害拠点。														
B班	<p>管理運営の問題という事で、どうやって予約したらいいのかというように使い勝手が悪いとか、どうやって使っているのかや、利用料金もどのくらいかかるのか等をすぐに調べる手段がない等から、若い世代には住民センターを使うという感じではないのかなと思います。また、若い世代の人口が減っているというのもあって、多くの人で使うであろう住民センターを2、3人で使うとなると、大きい施設ではなくても、誰かの家でもいいのかとなって、住民センターの必要性が無くなってきている。10人20人が集まるとなったら、範囲が広がってくる、ということで、やはり住民センターを使うという発想が、若い世代ではないのではないのかなという感じです。それらを改善するにはどうしていったらいいのかとなると、30代の若いお父さんお母さん向けのイベントを行って、若い世代に興味を持ってもらう。後は、若い世代の外国人にも目を向けて、地域に住んでいる若い外国人に、日本語教室であるとかをしたらいいのではないのかなと、また、年齢に関係は無く共通するのは、災害拠点については、必要ではないのかなと思います。以上です。</p>														
事務局	<p>ありがとうございました。 以上を持ちまして、ワークショップの方は終了させていただきます。 今、70代の発表と30代の発表をしていただきましたが、どちらでも結構ですので、質疑等ございましたらお願いします。 感想でも結構なのでどうでしょうか。</p>														

副会長	<p>特に私が感じたのは、70代のところで言うと、実際に管理運営を行っているのが70代で、使っているのも70代、そうすると、管理運営の問題が一番大きくて、自治会とか自治会長さん、役員さんに委ねている限り、使いつらいし、管理する方も困っているというところがブラックボックスになっていて、この裏表が、集会所は毎日開いているとか、いつ行っても誰かがいるとか、そう状況の中で利用促進されるので、そこが裏表である。ただ、70代の特徴は、歩いて10分の所という距離感があり、広い道路を渡らないと行けないとなると、住民センターだけをではなく、エリアの中で70代の高齢者の方は歩いて10分の住民センターを使って、それ以外の方は、別の拠点を使うから、全体の設計の中で住民センターの位置がというようなことが改めて分かった気がします。だから、いろんな拠点の中の住民センターがエリアという事も含めてどうなのかという見方が必要かなと思います。ただ、高齢者となると、バリアフリー。集会所では、やはり簡単な調理ができ食事が出来るとか、災害となると駐車場が必要というハード面もありますし、皆さんが一番心配しているのは、高齢男性が使いやすいかというのがあります。後は、地域のコミュニケーションで、祭りというのが大きい。30代では、率直に言ってニーズが無いように感じました。ただ、ニーズが無いけども、親子、地域というキーワードで、30代同士であるとか、親子同士だけではなく、地域とその他の人たちが結び付くには、こういう身近な拠点が必要。それは、祭りと兼ねたり、逆に災害と兼ねたりというところはあるだろうということです。私も発題したのですが、30代という事になると、阪南市にいる外国人の方のニーズは語られないのかという課題もあります。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 これは難しいなと思ったのは、自分が80から90歳で、地域の中に入れて施設にはまだ入っていない状態、あるいは、施設に入っていて家は空家になっているので心配だというような観点から、これは解決も難しいけれども、問題を洗い出してみても良かったかなと思いました。若い世代の所では、皆さんも若い世代のつもりになると、なんとなく元気が出るアイデアが出てくるのでいいなと思いますよね、これに重ねて、確実に今から20年後30年後が予測されている、新しい社会の流れみたいなものを一般論として重ねて書き加えていくと、より面白いのかなと思います。世の中に出てくるのが、男女共同参画社会が出てきたり、男性の育児休暇が一般化したりというのが中に入ってますけれども、あと、IT化で逆に市の広報をITで全員に配るといのがいつ頃か必ず入ってくるわけですから、また、ITが使えない人もいるので、それはそれで考えないといけないのですが、それも20年30年してくると、今の40代50代は、ほとんど全員IT化で、スマホを使っていないとほんと大変で、この辺がどんなイメージになってくるか、その上で子育てのことなんか、地域はITでいけるけども、実際にFace to Faceで懇め合ったりするようなことっていうのは、やはり、Face to Faceでないといけないので、そういう場所と考えると一番にいいですね。そのようなことも考えたりして、先ほど副会長がおっしゃったように、ボーダーレス化で外国人についていろいろ意見が有りますけども、地域の中で増えざるを得ない、そんな中で一緒に暮らして行くようなノウハウが必要になってくる。いろいろ先々のことなんかを考えて行く。今話題になっている、先進国の中でわが国の一番遅れています環境対策の話があるわけです。しかし日本は遅れたでは済まないの、いわゆる先進国に追い付かざるを得なく、環境対策については人々が集まる時に需要が出てきます、そのあたりを議論を重ねていくニーズもあります。何を言いたいかというと、先々というのは、結構利用方法がありますし大事なという事を感じました。それでは、今日は予定しておりました案件すべて終了いたしました。長時間ありがとうございました。</p>
司会	<p>ありがとうございました。 それでは、これにて第2回阪南市住民センターあり方検討審議会を閉会させていただきます。なお、次回審議会につきましては、年明けになります。1月10日金曜日で、本日より午後6時から開催をさせていただく予定でございます。開催通知は追ってご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。 長時間に渡り本日はありがとうございました。</p>